

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成21年1月8日		
		作成部署	建設交通部 河川課		
事業名	総合流域防災事業	地区名	舞鶴市下安久～七日市地内		
概算事業費	31億円	事業期間	昭和62年～平成35年		
事業概要	過去に浸水被害が発生しており、流下能力が低いことから、河床掘削、築堤、堤防かさ上げによる改修を行う。(L=5.5km、支川含む)				
目指すべき環境像	当該河川は山間部を抜け舞鶴湾に注ぐ河川である。河川には砂州やみお筋が形成され、多くの魚や水鳥の住処となっているため、自然豊かな環境に配慮し、周辺と調和した河川改修を行う必要がある。				
関連する公共事業	特になし				
評価項目			環境評価		
主要な評価の視点	選定要否	施工地の環境特性と目標			
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	—	本河川は希少なアカザ、カマキリ、サケ等、多種の魚類が生息している。ヨシを中心とした河川内植生も多く、砂州や植生地を休み場とするカイツブリなどの鳥類も多数飛来する。	—	
	地形・地質	○		河川改修は現状の自然環境を守り、生態系を壊さないように配慮した整備を行う。	3
	物質循環(土砂移動)	○		瀬や淵、みお筋の良好な環境を保全することにより、多様な動植物が生息・生育する河川環境の保全を図る。	3
	野生生物・絶滅危惧種	○			4
	生態系	○			4
	その他	—			—
生活環境	ユニバーサルデザイン	—	当該河川は過去からたびたび浸水被害が発生しており、また周辺では河川改修を実施することで地域の生活環境改善の努める必要がある。	—	
	水環境・水循環	○		河川改修の実施により、浸水被害の解消が期待できる。	4
	大気環境	—		河床掘削による掘削土を他工事へ流用しコスト削減を図る等、処分する建設廃棄物の低減を図る。	—
	土壌・地盤環境	○		住宅に近隣している箇所の工事においては低騒音・低震動型の建設機械を採用する。	3
	騒音・振動	○			3
	廃棄物・リサイクル	○			4
	化学物質・粉じん等	—			—
	電磁波・電波・日照	—			—
	その他	—			—
地域個性・文化環境	景観	○	当該河川にはイサザ漁、万灯籠など伝統祭事が残されている。これら文化資産を残すために地域住民が親しみやすい周辺の景観にある河川環境の創出が必要である。	3	
	里山の保全	—		自然植生の再生に努め、緑豊かな河川景観の創出を行うとともに、万灯籠などの伝統祭事に配慮した整備を行う。	—
	地域の文化資産	○		河川の維持管理において地域住民と連携した取り組みを行う。	3
	伝統的行祭事	○			3
	地域住民との協働	○			4
	その他	—			—